

## Discover Japan ～学生たちが触れた日本～

私たち国連大学協力会(JFUNU)は、日本で学ぶ国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)大学院の学生に、毎年日本文化や日本の社会について理解を深めてもらう機会や彼らを支援する皆さまと交流する機会を設けています。今号では、2024年に実施したイベントをまとめてお届けします。まずは、「Discover JAPAN」、この1年でさまざまな日本に出会いました。

6月  
JUN.

### KABUKI Tour

9月  
SEP.

### Discover BUNRAKU



6月6日、サンパール荒川で開催された歌舞伎鑑賞教室に12名の学生が参加しました。第一部では歌舞伎役者による歌舞伎の解説「歌舞伎のみかた」を聞き、第二部では実際の演目「恋飛脚大和往来 封印切」を鑑賞しました。

9月20日に新国立劇場小劇場にて「伊達娘恋緋鹿子」「夏祭浪花鑑」の演目と文楽の解説からなる「Discover BUNRAKU」を鑑賞しました。

7月  
JUL.

### JFUNU Peace Study Tour in Hiroshima

7月11日から12日、JFUNU初の1泊2日で開催した平和学習会。目的地は広島。

Day1

広島平和記念公園

原爆ドーム見学、原爆の子の像では新幹線で自ら折った千羽鶴を奉納。

被爆体験講話会

英語で自らの被爆体験を語る小倉桂子さん。毎回講話をお願いしており、今回も壮絶な体験を伝えてくださいました。中には感極まって涙ぐむ学生も。



Day2

厳島神社(世界遺産)見学

映えスポットは大渋滞!

広島大学学生との交流会

厳島神社をあとにして一路

広島大学東千田キャンパスへ。

学食でのランチの後、グループに

分かれ、平和についてディスカッション。



9月  
SEP.

### JFUNU Study Tour

### - YKK Corporation Kurobe and "GOKAYAMA" -

9月25日から26日、企業見学と世界遺産を訪ねるツアーは北陸新幹線で一路富山へ。

Day1

YKK株式会社黒部事業所  
(jfScholarship for UNU賛助会員)

レクチャー

YKK株式会社の沿革や製品  
サステナビリティへの取り組み

YKK株式会社が富山県に存在する意義に感銘を受けた学生も多くいました。

ファスナーづくり体験

すべて手作業でファスナーづくりを体験。

細かな工程に四苦八苦する学生も。



Day2

五箇山(世界遺産)

菅沼合掌集落見学

合掌造りの家が立ち並ぶ山里を散策

国指定重要文化財「岩瀬家」見学

和紙作り体験

それぞれハガキを渡し、お土産に。

実際に手を動かす体験あり、映え

スポットでの撮影タイムあり、充実

した2日間でした。



# Ceremonies ～心に残る触れあい～

国連大学協力会では、学生の日本での生活を支える奨学金を提供しています。その奨学金は企業や個人の皆さまの寄付による賛助会員制度(jfScholarship for UNU賛助会員)に支えられています。ここでは、奨学金を受け取った学生と、奨学金に寄付をした賛助会員の皆さまとの1年間の交流を特集します。

## Appreciation Meeting 修了のご挨拶

jfScholarship for UNU特別賛助会員として修士課程の2年間それぞれ1名の学生をご支援いただいた住友化学株式会社と個人会員の小島三津雄さんに面談し、お礼を伝えました。

### Sumitomo Chemical Scholarship for UNU

8月7日、Sumitomo Chemical Scholarship for UNU奨学生であるUNU-IAS修士課程2年のAugustine Chiga Awolorinkeさん(ガーナ)が、2年間の日本での学生生活を支えてくれた感謝の意を伝えに、奨学金のスポンサーである住友化学株式会社東京本社を訪問しました。住友化学株式会社の皆さまからは、「日本での修学に貢献できたことを嬉しく思います。帰国後、ますますご活躍されることを祈っています。卒業後もこのご縁を大切にしていきましょう。」とエールが贈られました。



### The Kojima Family Scholarship for UNU

8月20日、The Kojima Family Scholarship for UNU奨学生であるUNU-IAS修士課程2年のEmilio Narciso Bautista Reyesさん(フィリピン)が、2年間の日本での学生生活を支えてくれた感謝の意を伝えるため、JFUNU事務所にてご支援いただいた小島三津雄さんと面談しました。自身の研究内容の報告と将来に向けた展望を力強く語るEmilioさんに、小島さんからは「この縁を大事に、目標に向かってさらなる活躍を願っています」と応援の言葉がかけられました。



## UNU-IAS Graduation Ceremony UNU-IAS学位授与式

8月9日、UNU-IAS大学院プログラムの学位授与式が行われました。博士課程4名、修士課程8名がこの日新たな門出の日を迎えました。修了生の内、JFUNUが支援しているjfScholarship for UNU奨学生は全員で4名(<修士課程> Augustine Chiga Awolorinke(ガーナ)、Husna Chelang' at Kipsoi(ケニア)、Emilio Narciso Bautista Reyes(フィリピン) <博士課程> Constance Bwire(ウガンダ))。JFUNUからは記念品として歌舞伎のシーンの描かれた団扇が専務理事の石野利和から修了生代表に手渡されました。また当日は、ご支援いただいているjfScholarship for UNU賛助会員から修了した学生に向けて、お祝いとともに今後の活躍へ期待の言葉が贈られ、交流の時間を設けることが出来ました。式後のレセプションでは、石野が修了生への餞として謡の「高砂」を披露しました。



謡を披露する石野専務理事

## UNU-IAS Opening Ceremony UNU-IAS入学式

9月2日にUNU-IAS大学院プログラムの入学式がオンラインで開催されました。新入生は博士課程2名、修士課程6名で、うちjfScholarship for UNU生は3名(<修士課程> James Alidzi Gbeku(ガーナ)、Hope Grace Adhiambo Otieno(ケニア) <博士課程> Fiona Ngadze(ジンバブエ))です。

## Introductory Meeting 来日のご挨拶

11月6日、The Kojima Family Scholarship for UNU奨学生のHope Grace Adhiambo Otienoさん(ケニア)がJFUNU事務所で小島三津雄さんに来日のご挨拶をしました。少し緊張した面持ちで事務所にきたHopeさん。自己紹介や研究したい内容を話していくうちに徐々に和やかな雰囲気になりました。小島さんからも今後のアドバイスや激励の言葉がかけられ、無事挨拶を済ませることが出来ました。

## JFUNUあれこれ

5月11日にUNU-IASとJFUNU共催で能登半島地震復興に向けたシンポジウムが開催されました。支援募金への呼びかけも行われ、多くの方にご協力いただきました。ありがとうございます。



チリツィ・マルワラ国連大学学長と小宮山理事長

6月18日、東京国立博物館でUNU-IAS10周年イベントが開催されました。理事長の小宮山宏がレセプションで祝辞を述べました。



UNUのロゴが新しくなり、私たちJFUNUのロゴも変更しました。よろしくお祈りします！